

東京PCB廃棄物処理事業だより (No.43)

東京PCB廃棄物処理施設の運転状況について

当事業所での平成27年7月～9月の処理実績は下表のとおりです。

廃棄物の種類	7月～9月 処理台数	操業開始からの 処理台数の累計
トランス類	53台	2,870台
コンデンサ類	1,741台	38,163台

* 連結コンデンサは内部に含まれる台数でカウントしています。

* 低濃度PCB廃棄物については平成25年6月に処理を完了いたしました。

東京PCB廃棄物処理事業環境安全委員会が開催されました。

10月8日、江東区東陽町にて第34回環境安全委員会（委員長：中杉修身 元上智大学大学院教授）が開催されました。

議題1として、平成27年度上半期の施設稼働状況や環境モニタリングの結果、作業従事者の労働安全衛生、ヒヤリハット活動及び教育・訓練の実施状況等について報告しました。

議題2として、東京PCB処理事業所における取り組み意識等のアンケートの実施について報告しました。これは、業務に従事している運転会社社員等へアンケートを行うもので、PCB処理事業の意義に対する認識を更に深めて頂くことにより、今後の処理事業を確実に安全に遂行していくことを目的としています。

議題3として、廃粉末活性炭処理設備の試運転結果について報告しました。他の事業所で処理が困難な廃粉末活性炭の処理設備を当事業所内に新たに設置し、試運転を行った結果、処理が問題なく実施できることを確認いたしました。10月中旬以降、本稼働を開始することとしています。

議題4として、東京エリアに保管されており、そのままでは処理のできない、リン化合物含有PCB油の前処理検討調査の中間報告を行いました。油中のリンを除去できることを確認し、引き続き事業化への検討を進めることとしています。

議題5として、水熱分解設備の腐食防止の追加対策案について説明しました。

環境省からは、9月に開催された第1回PCB廃棄物早期処理推進ワーキンググループ会議の内容・検討状況の報告がありました。

委員からは、期限内に処理ができることを地元が理解できるように定期的な報告が必要であるなどのご意見がありました。

いただいた貴重なご意見・ご助言等を施設の運営・管理に反映し、引き続き安全・確実な処理を行なってまいります。



環境安全委員会の様子

自衛消防活動審査会に参加しました。



自衛消防活動審査会の様子と表彰状

9月25日、東京消防庁臨港消防署において、平成27年度自衛消防活動審査会が行われました。

当事業所代表として、運転会社の東京環境オペレーション(株)が参加し、消火栓による消火を実演しました。

その結果、訓練態度・操作等が評価され、敢闘賞をいただきました。

この経験を生かして、万が一の際の万全な消防活動ができるよう準備してまいります。

PCB収集運搬業者安全協議会総会・連絡会が開催されました。

10月9日、当事業所が入門許可を出しているPCB収集運搬業者で構成される「PCB収集運搬業者安全協議会」（会長会社：首都圏日立物流サービス株式会社）の第8回総会が開催されました。当日はPCB収集運搬業者25社、38名の方々に参加されました。

総会では、1年間の活動の報告等があった後、任期満了に伴う役員改選が行われ、新会長に株式会社ジェイアール東日本物流様が就任されました。

総会終了後、同収集運搬業者と東京PCB処理事業所との間で「PCB廃棄物収集運搬業者連絡会」を開催し、下記の事項を報告して必要な情報共有を図りました。

- ①微量PCB助成金について（東京都環境公社から）
- ②H27年度首都圏少量保管者説明会の状況について
- ③緊急連絡体制の変更について
- ④事故対処要領の変更について
- ⑤収集運搬不適合事例の報告と改善対策について
- ⑥入門許可更新・変更手続き等について
- ⑦環境ISOの取り組みについて

特に、②では、1都3県の少量保管事業者様からの搬入計画を示し、収集運搬の時期などを説明しました。③では、6月に東京都と政令市等15自治体からなる首都圏広域協議会で決定した「東京PCB廃棄物処理事業の収集・運搬中における緊急連絡体制」について説明し、周知を図りました。④では「PCB収集運搬業者安全協議会」に応援出動が必要な場合の連絡体制を示し、理解を深めていただきました。

最後に、無事故で安全なPCB廃棄物の収集運搬を祈念し閉会しました。



収集運搬業者連絡会の様子

上半期の施設見学者と新たな展示物設置について

上半期は、保管事業者、官公庁、学校、海外等から、28団体、合計321人の方々にお越しいただきました。

	4月～6月	7月～9月	上半期計
団体数	14件	14件	28件
見学者数	137名	184名	321名

また、展示スペースに新たな展示物として、防護服着用的人形とポートグローブ等を設置し見学を希望される場合は、下に記載しています電話番号へお問い合わせください。



スーパーエコタウン見学会参加の皆様



新たな展示物

環境報告書2015を発行しました。

平成26年度の当社の事業活動に係わる環境配慮の取組みをまとめた『環境報告書2015』を9月に発行しました。

この報告書は、当社の環境と安全に対する取組みを積極的にお知らせするために毎年発行しているものです。また、環境保全に加えて、PCB廃棄物の処理実績、労働安全衛生、保安防災、従業員教育、地域とのコミュニケーション、PCB廃棄物処理事業検討委員会等の取組みについても記載しています。発行に当たっては第三者審査を実施し、開示情報の信頼性を高めています。

「環境報告書2015」は当社のHPに掲載しておりますので、ぜひご覧ください。



中間貯蔵・環境安全事業株式会社 東京PCB処理事業所
〒135-0064 江東区青海三丁目地先（中央防波堤内側埋立地内）
Tel.03-3599-6023
<http://www.jesconet.co.jp/facility/tokyo/index.html>



年頭集会

年始にあたり、平成28年を無事故・無災害で操業できるように祈念して、PCB廃棄物処理に当たっているJESCOと東京環境オペレーション(株) (TEO) の2社合同の全体集会を行いました。

JESCO東京PCB処理事業所長の牧田からは、年末年始もトラブルがなく安全確実に操業を続けることができたことの報告と、北九州PCB処理事業所が排気中ベンゼン濃度の協定値超過により操業停止していることを重大にとらえ、改めて「安全・確実」の基本理念を貫いていこう、との年頭訓示がありました。

また、運転会社であるTEOの本田所長からは、安全・安定操業、作業環境の向上を図り、無事故・無災害に向けて取り組んでいく、との決意表明がなされました。



全体集会の様子

東京PCB廃棄物処理施設の運転状況について

当事業所での平成27年10月～12月の処理実績は下表のとおりです。

廃棄物の種類	10月～12月 処理台数	操業開始からの 処理台数の累計
トランス類	128台	2,998台
コンデンサ類	2,120台	40,283台

*連結コンデンサは、内部に含まれる台数でカウントしています。

*低濃度PCB廃棄物については、平成25年6月に処理を完了いたしました。

ポリ塩化ビフェニル廃棄物処理事業検討委員会 東京PCB処理事業部会を開催しました。

平成27年12月11日に、平成27年度第3回東京PCB処理事業部会（主査：永田勝也早稲田大学名誉教授）を開催しました。

議題1として、「長期処理計画（案）」について、処理進捗状況、今後の処理方針等を説明し、ご審議いただきました。

議題2として、「リン化合物含有PCB油の前処理検討調査」の2回目の報告を行いました。前回報告以降の調査結果、リン化合物前処理による設備・環境面の影響及び前処理の工程の考え方等を報告し、ご意見をいただきました。

議題3として、受入基準の変更についてご報告しました。これは、PCB廃棄物処理基本計画の変更に伴い、豊田事業エリアの車載トランスを受け入れることとなりましたので、当事業所の受入基準に車載トランス用漏れ防止型金属容器の追加等を行うものです。

議題4として、11月30日にコンデンサのグローブボックス（GB）系統排気中PCB濃度がセーフティネット活性炭槽前で自主管理値（0.01mg/m³）を超える0.0161mg/m³を計測したることについて、施設外部への排出はなかったことやその原因・対策のご報告をしました。

各委員からは、報告書の内容をより分かり易くすることや委員への報告方法等、多くの助言をいただきました。

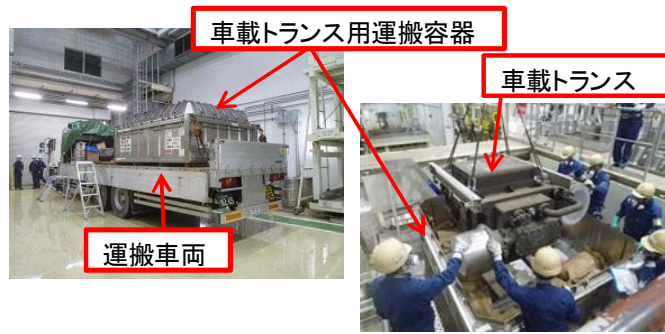


事業部会の様子

車載トランスの搬入

前項「ポリ塩化ビフェニル廃棄物処理事業検討委員会東京事業部会」で報告しました「受入基準」の変更により、当事業所で豊田事業エリアからの新幹線車載トランス受け入れが可能となり、平成27年12月15日に最初の2台の搬入を行いました。

従来のもよりサイズの大きな運搬容器を用いるため、慎重に作業を進め、受入を無事行いました。



車載トランス搬入・荷卸しの様子

総合防災訓練の実施

総合防災訓練を昨年11月13日に実施しました。東京湾北部を震源とする震度5弱、120ガルの地震発生、との想定で実施したものです。



総合防災訓練の様子

今回の訓練の主な目的は、①地震及び災害発生時の初動活動計画の検証、②2か所同時発災の時の対応、③公設消防隊との連携、の3点でした。訓練は対策本部及び現地指揮本部の連携のもと、迅速に行われました。

訓練に参加いただいた臨港消防署及び立ち会っていただきました地元東京都環境局と江東区の担当者の方々から、素晴らしい訓練であった、さらにリアリティのある訓練としてほしい等の講評をいただきました。

今後とも、訓練を重ねることにより、さらにレベルアップを図ってまいります。

救命講習会の開催について

平成28年1月15日、臨港消防署の方を講師として招いて救命講習会を開催し、16名が受講しました。

心肺蘇生の胸骨圧迫・人工呼吸及びAED（自動体外式除細動器）による救急・救命の重要性を再認識し、人形を使っての実地訓練を行いました。また、気道異物除去法や応急手当についての講義も受けました。

緊急事態に遭遇した場合を想定して、適切な応急手当のための知識と技術を習得する有意義な講習会となりました。



救命講習会の様子

臨港消防署から表彰されました。



左から新村当直長、中村調査役、池原課長

秋の火災予防運動中の昨年11月12日、東京消防庁臨港消防署から当事業所の3名が表彰されました。

JESCO安全対策課長の池原は、防火管理者として自主防火管理体制充実強化を図り、災害発生防止に貢献したことに対して、JESCO安全対策課調査役の中村とTEO新村当直長は、危険物取扱者として災害防止対策に取り組み安全対応に貢献したことに対して、それぞれ表彰されたものです。

今後とも、当事業所では災害防止対策を着実に進めてまいります。



中間貯蔵・環境安全事業株式会社 東京PCB処理事業所
〒135-0064 江東区青海三丁目地先（中央防波堤内側埋立地内）
TEL03-3599-6023
<http://www.jesconet.co.jp/facility/tokyo/index.html>